

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		消防施設等整備事業			
事業の概要		<p>平成19年12月に策定した「与謝野町消防施設等整備計画」に基づき、消防施設等の整備を計画的に進め、団の体制を補完するとともに地域格差の解消を図り、消防・防災体制を確立し、円滑な消防活動を可能とするものである。</p> <p>< 消火栓ホース格納箱等整備事業 > 屋外型ホース格納箱 29個、消火栓ホース 103個、管槍 20個</p> <p>< 消火栓整備事業 > 消火栓設置工事 9基</p> <p>< 消防団詰所下水道接続事業 > 野田川第4分団詰所水洗化改修工事</p> <p>< 消防防災設備整備事業 > ・消火栓設置工事 9基 ・有蓋40m³級防火水槽新設工事 4基、設計・監理委託 ・加悦第1・3分団ホース乾燥装置設置工事、設計委託、監理委託 ・消火栓資機材整備 ホース格納箱 91個、消火栓ホース 327個、管槍 60個 ・消防詰所地上デジタル放送対応カラーテレビ設置 12詰所</p>			
		事業期間	平成21年度		
		総事業費	56,726	本年度事業費	56,726
事業評価	事業の必要性	火災による被害を防止するため消防防災体制の充実は安心・安全のまちづくりを推進するうえで欠かすことのできないものである。			
	事業の有効性	「与謝野町消防施設等整備計画」に基づき、町全体の均衡を図りながら計画的に消火栓整備を進めることで、町全体の防災体制の強化を図る。			
	事業の効率性	消防防災体制の強化を図ることで、火災による被害を防止、または最小限に食い止められ、安心・安全のまちづくりに資する。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果			
		2 住民の自治意識を高める成果 合併に伴い町域が広域化したことにより各分団での応援体制が整い、地元消防団の果たす役割はさらに大きくなっている。研修や操法による消防団員の資質の向上を図りながら、新町の消防・防災体制の強化、安心・安全な生活環境を創出するものである。			
		3 リーディング・モデル成果 平成19年12月に「与謝野町消防施設等整備計画」を策定し、消防施設等の整備を計画的に進め、団の体制を補完するとともに地域格差の解消を図り、消防・防災体制を確立し、円滑な消防活動を可能とするものである。			
		4 広域的波及成果 消防施設整備を実施するとともに防災意識の向上を図り、災害発生の抑制や災害発生時の被害の最小化につなげる。火災にかかわらずあらゆる災害に見舞われた際の危機管理意識の向上につながり、安心・安全なまちを目指す礎となる。			
5 行財政改革に資する成果 本事業により、消防・防災装備水準の均衡化、広域的な支援体制の向上が図られる。消火栓施設については、地域の要望に基づき、充足率の低い地域や、緊急性の高いと判断される箇所を優先し、町全体の均衡を図りながら整備を進め、町全体の防災体制の強化を効率的に実現するものである。					
6 その他の成果 火災時においては初期消火が最も重要であるが、本事業により、地域の防火意識の向上が図られ、消火作業への地域住民の協力・連携による初期消火への効果が期待できる。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。